

10月5日 防災訓練開催



10月5日登美ヶ丘中学校で、平城西地区防災訓練が平城西地区自主防災防犯会主催で登美ヶ丘中学校・奈良市西消防署・同地区女性防犯クラブの協力のもと開催されました。奈良市危機管理課からは防災訓練用に段ボールベッドや避難ルーム、テント付き簡易トイレなど5品目が貸し出されました。各自治会は地域避難所に集合した後、小雨模様の中、一次避難所の登美ヶ丘中学へ移動しました。

9時半時点での登録者は189名の6自治会と一般、その後も大人や子どもたちが増えました。

9時半に自主防災防犯現任会会長ニック キャンベルの開会のあいさつの後、奈良市消防局消防課長の奥西健児さんから「令和6年能登半島地震への出勤と災害への備えについて」の講演があり、「災害に強いまち」を作りましょうと結ばれました。10時からは自治会グループごとに体験する時間となり、室内では、応急手当・AED訓練、ライブ119通報訓練、非常食の試食と防災グッズの展示、子どもたちには防災クイズ・スタンプラリーもあり楽しみながら学べました。屋外では体育館脇に展示された地区の防災士の資格も持つ中野さんの車中泊できる車、筒状の通路を通り抜ける煙体験、消火器を用いた消火訓練、そして今年の特別プログラムの起震車による揺れの体験ができました。

避難訓練を通して、イベントとしての体験を積むことで楽しく意識を高め、貴重な経験ができましたが、実際の災害時は安易なものではないことも心に留めることが必要。例えば震度7被災後、インフラ復旧までにかかる時間は電気やガスが比較的早い1週間程度でも、上下水道はさらに時間を要すると想定されます。と考えたとき、常日頃の自分たちの町における自助・共助がいかに大切かが再認識されます。今回の避難訓練開催にあたり、多くの関係部署や地域の人々が協力的に働き、意義ある時間を共有、さらに地区自主防災防犯会、自治会とともに自助・共助を推進し、「災害に強いまちへ」、また一歩進んでいきましょう。課題に、SNSが使えるがスマホの一般通話はほぼ繋がらないこと。そして公助が届くまでに時差があることを忘れずに！

